キャラクター名
水無月 ひかり(みなづき ひかり)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	FHエージェントA	カヴァー	高校生(かわいい)
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	41 %
出自	疎まれた子	経験	親友	邂逅	欲望表：勧誘

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0		1			1
感覚	6	1	2		4	13
精神	2		0			2
社会	0		1			1

HP	24
行動値	28
(非装備時)	28
戦闘移動	33
全力移動	66

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3	1	ＲＣ		1	交渉		
回避			知覚	1	1	意志	2		調達		1
運転：			芸術：			知識：			情報： FH		1
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光の呼び声		0				
侵蝕0-99	射撃	13r+4		42		C値8/侵蝕11
侵蝕100-	射撃	13r+4		82		C値7/侵蝕15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
D：実験体	P	N		
メロウ	P大切な人	Nごめんなさい		
灰原真白	P大切な人	Nごめんね		
	P 興味	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
C：エンジェルハィロゥ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ				-	
効果： C値-Lv(下限7)								
オプティカルレンズ	5	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果： 攻撃力+【感覚】/ｼｰﾝLv回								
デトネイトチャージ	5	4	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果： 攻撃力+[Lv×4]/使用した武器はすべて破壊される/前提：オプティカルレンズ								
マスヴィジョン	6	5	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	対決	100↑	
効果： 攻撃力+[Lv×5]/ｼﾅﾘｵ3回								
光の銃	7	2	ｾｯﾄ	至近	自身	自動	-	
効果： 光の銃(攻撃力+[Lv+2]/射程：視界作成								
七色の直感	★							
効果：								
猟犬の鼻	★							
効果：								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

かわいいJK。
両親から捨てられ、施設で育ったものの養父に拾われなに不自由ない普通の生活を送っていたはず、だった。
海難事故で記憶を失い、その時に一度死亡して覚醒した。なにも残っていない記憶の中で、だれか、女の子が助けてくれた。そんな記憶だけが残っている。

記憶を失う前は普通の女子高生だった。
生まれてすぐに両親に捨てられた彼女は、潜在的なオーヴァードとしての力を見初められてUGNエージェントである男に引き取られる。護身術だよ！とかいろいろな理由をつけてRCなどの訓練なども行われていた。あと、覚醒のための実験も。しかし、それについては記憶操作により覚えていない。父のことは大切なお父さんと思っている。実子じゃないとは知ってる。
施設にいた頃、一人の男の子が「一緒に来いよ」といじめられていたひかりに対して手を差し伸べ、脱走のために星の遠く煌めく夜道を走ったことがある。
彼とはその後別々の家に引き取られ、もう会うことはなかった。がそのときに交わした、「また会おうね」という約束を記憶を失うまでのひかりは覚えていた。
また、会いたいな、会えたらまたお友だちになってほしいな、と願っていた。
（まあそういう記憶もうないけども）

- - -（人魚卓のおはなし）- - -

近江支部で起こった、腕と人魚にまつわる事件の中で彼女は大切な人を見つけた。
腕をゼノスエージェントであるジャヴァウォックに引き渡し、彼女と人魚であるメロウ、そして灰原真白の三人は夜城のセルへと所属。

無くした記憶は戻らないし、過去に戻ることもできない。でも、だから。わたしは、この手に残ったものを掬い上げるんだ。ぜったいに、離さないから。
彼女は今、沈まない船の上で人魚と灰から生まれた少女と、一緒に平和に、幸せに生きている。